



い～ねだより

2024年6月3日

認定NPO法人じゃんけんぽん

企業主導型保育 い～ね保育園

基本理念

『たくましく生きる力』

保育目標

『自ら感じ考え自分と周りの人を大切にする心を育てます』

『基本的な生活習慣を身につけ、心身ともに調和のとれた幼児を育てます』

『地域のひとのかかわりやふれあいを大切に、かけがえのないつながりを創っていきます』

『一人ひとりの子どもを十分に愛し、子どもの個性を受け止め、伸ばしていきます』

6月のテーマ

『雨ってたのしい～！！』

子ども主体の保育って??

子ども主体と聞くとどんなイメージを持つでしょうか?積極性がある、自主的である、子どもがやりたいようにやる。色々なイメージがあるかもしれませんが、その根本は「その子らしさ」を尊重することだと思います。子どもの言うことを聞きすぎると、やりたい放題になってしまつてワガママにならないかという心配をされる方もいますが、そばにいる大人に自分の気持ちを受け止めてもらった子どもたちは、人生の土台である愛着が形成されていくと言われています。

そうは言っても、大人にもこうしてほしいという願いはありますよね。

ある日の食事の風景です。

Aちゃん「ピーマンきらーい!」 保育者「Aちゃんピーマン嫌いなんだね。」

Aちゃん「うん」 保育者「先生もピーマン苦手だったなあ」

Aちゃん「先生も苦手だったの?」(保育者にも嫌いなものがあることに少し驚いた様子)

保育者「そうだよ、苦いよね。でもね、ご飯と一緒に少しだけ食べたら食べれるようになったの!」

Aちゃん「へえ～!」 保育者「Aちゃんも小さくして少しだけ食べてみる?」

Aちゃん「うん、ちょっとだけなら!」

嫌いという子どもの気持ちは受け止めますが、挑戦してほしいという大人の気持ちは伝えます。

①食べないでいいではなく、②無理やり全部食べさせるではなく、③ちょっとだけ食べてみようという提案する。

①か②にしてしまうと大人も子どもも苦しいですよね。ですので③の代替案を探ってみるのはどうでしょうか。

子どもだけではなく、大人も自分らしく生き生きと過ごしていくことが大切なのだと感じています。

